



2019年4月12日発行

「献血ヴェノグロブリンIH10%静注」の 供給不足に伴う対応のお願い

グロブリン製剤「献血ヴェノグロブリンIH10%静注」について、一部の規格で供給が不足するとの連絡がありました。

- 経緯：新規格（20g製剤）発売後に消費量が増加し、供給困難となった。
- 当院の献血ヴェノグロブリンIH10%静注の採用と供給状況

献血ヴェノグロブリンIH10% 5g ⇒供給制限(通常の1割程度)	献血ヴェノグロブリンIH10% 20g ⇒現在のところ通常供給
	

- 再開の見込み⇒現状では不明
- 当院における他のグロブリン製剤の採用状況

献血グロベニン-I静注用5000mg	献血ベニロン-I静注用2500mg
	

適応症が薬剤によって異なるため、困難な場合もあるかと思いますが、可能な場合には他剤に変更していただきますようお願いします。
在庫状況を鑑みて他剤への変更を提案させていただくこともありますので、よろしくお願いいたします。

○ 各グロブリン製剤の適応症（※ピンク背景はヴェノグロブリンのみ）

	献血ヴェノ グロブリンIH10%	献血グロベニン -I静注用	献血ベニロン-I 静注用
低又は無ガンマ グロブリン血症	○	○	○
重症感染症における 抗生物質との併用	○	○	○
特発性血小板 減少症紫斑病	○	○	○
川崎病の急性期	○	○	○
多発性筋炎・皮膚筋炎の 筋力の低下改善	○		
慢性炎症性脱髄性多発根 神経炎の筋力低下の改善	○	○	
慢性炎症性脱髄性多発根 神経炎の進行抑制	○	○	
全身型重症筋無力症	○		
天疱瘡	○	○	
水疱性類天疱瘡	○	○	
ギラン・バレー症候群	○	○	○
IgG2値低下を伴う、 反復する急性中耳炎等	○		
好酸球性多発血管炎性肉芽 腫症における神経障害の改善			○
スティーブンス・ジョンソン症候 群及び中毒性表皮壊死症		○	

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。

（文責：小林）